新潟県長岡地域振興局長賞
『日本の未来のために』
柏崎市立鏡が沖中学校　三年　大掛　聖和

僕は、教育や公務員の給料、道路などの整備のみに税金が使われていると思っていました。ですが、租税教室やニュースなどを通して、それ以外のことにも多く使われていることを知りました。例えば、国民の生活を支えるための社会保障費です。これは、年金や医療、福祉などに使われています。しかし、昔に比べて今は、少子高齢化が進み、社会保障費が増えています。そのため、若い世代が税金を多く負担しているという現状があります。

日本は、民主主義国家です。毎年、予算編成が行われ、十二月には閣議決定されます。そのときに、議員は税金の使い道について自分の考えを伝えています。しかし、その議員を選ぶ選挙の投票率は全体的に低く、特に若い世代の投票率が低いことが分かりました。

税金の負担が大きくなっている日本をより良くするためには、全国民が選挙に関心を持つことが必要です。そして、候補者の考えを知った上で投票することが大切だと思います。誰が一番私たちの考えに合っているのか、誰が私たちの理想を実現してくれそうか等を考えて、投票するべきです。国民一人一人が持っている選挙権は、日本を変える可能性のある大切な権利です。より良い生活を送るためには不可欠であり、関わらなくて良い人は誰一人いないと思います。

また、税金は地方交付税交付金にも使われています。これは、全国各地で同じ水準の公的サービスを保つためのお金です。使い道が決められていないため、地方の自治体が自由に決めて使うことができます。そのため、自分の地域を活性化させることや、暮らしやすくすることに有効です。したがって、誰もが平等に税金を納めることが大切です。

このように、税金は社会保障や地方の暮らしに使われていることから、社会の会費ということを知りました。様々な税があり、負担が大きいため、生活が困窮している人もいると思います。しかし、税金は無駄なお金ではなく、安心安全な暮らしを送るには不可欠なものだと思います。

僕は学生なので、まだ消費税しか納めることができません。しかし、今から社会に貢献していくために、身近な消費税の仕組みを深く理解していきたいです。また、学校の物を大切に使うなど、学生だからこそできることにも取り組んでいきたいです。税金が使われているものの扱いを工夫することも社会への貢献の一つだと思います。

「まだ自分には関係ない」と考えるのではなく、学生も社会の一員ということを忘れずに生活していきたいです。そして、将来は税金を納める立場として、日本の社会を支えていける人になりたいです。